

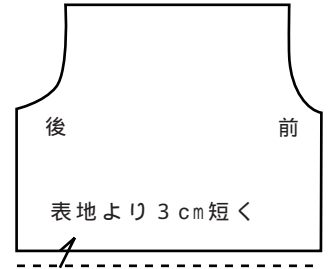
# polka drops

かんたんすっきりワイドパンツ  
かんたんな裏地のつけ方

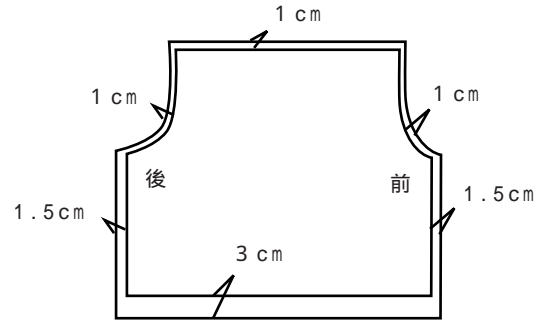
転載・二次配布  
無断コピー禁止

## 裏地について

通常、アイテムに裏をつけたいと考えた場合、裏地専用のパターン、仕様が  
必要になります。場合によってはそのために、表地の型紙にも  
操作が必要なこともあります。そのため、簡単につける事が難しい  
「裏地」ではありますが、ゆとりの多いものなど、一部のアイテムには、  
簡単につけることも可能です。ここではその方法を、  
かんたんすっきりギャザーパンツ (pp147) を使ってお伝えします。  
裏地はベンベルグなどが肌ざわりも良く高級感もありますが、縫いやすいもの、  
裁断しやすいものなどもありますので使いやすいものを選んでください。



まず、型紙を作ります。基本的には表地のパターンと同じです。  
表地のパターンの出来上がり線をトレースしてください。  
ただし、裾だけ表地より 3 cm 短くしておきます。



縫い代をつけます。股ぐり、ウエストは 1 cm ずつ、股下 1.5 cm  
裾は 3 cm つけます。表地の裾は 2.5 cm、縫い代幅が違うので注意。

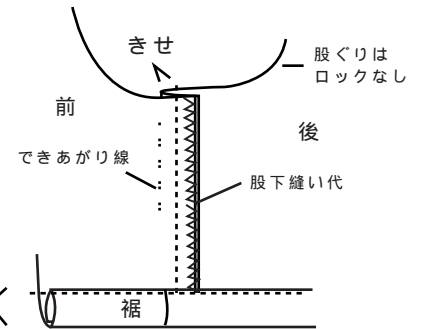
生地を裁断します。左右対称で 2 枚裁断します。

縫い合わせます。裏地は裏地で、表地と同じ形に縫います。

股ぐりは、ロックをかけません

(裏地をつける時は、裏地もですが表地も)

股下は 0.5 cm きせをかけます。裾は 1.5 cm 完全三つ折り始末です。



## きせ (被)

表地の伸びについていくためにする処理の 1 つ。

トップスもボトムも、縦のラインできせをかけ、

後ろに片倒しが基本です。ここでは出来上がり線の

5 mm 縫い代側を中縫いし、出来上がり線で片倒します。

1.5 cm ずつ  
2 回折ります。

股ぐり (股部分) ・内もも部分は表地と裏地が大きくずれないように、

「中とじ」をします。表地と裏地の縫い代のみを拾い、

ゆるい波縫いで縫い合わせます。

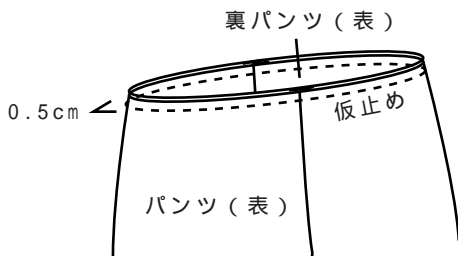
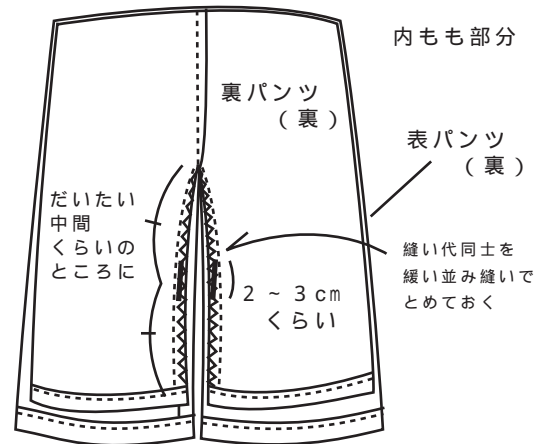
素材によっては、裏地が上がってくることもありますので、

(軽い裏地であるとか、静電気などで起こる現象です)

その場合は脇部分に、ループどめをする必要があります。

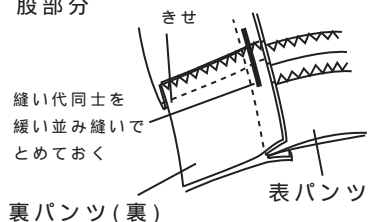
(ループの説明はここではしていません) 比較的重い

ポリエステル系裏地の場合などは、必要がない場合もあります。



表パンツと裏パンツを  
外表に合わせて、  
ウエスト部分を端から  
0.5 cm の所で仮止めます。  
仕様書どおりに  
ベルトつけをして完成です。

## 股部分



\* お客様で補正したパターンについては、その品質を保証しかねます。

\* ご不明な点はお問い合わせください。